婦選獲得同盟會報

第十九號

【昭和六年度報告及第九回總會報告】

婦選獲得同盟

婦選獲得同盟會務報告

昭和六年度（自昭和六年四月 至昭和七年三月）

一、現勢

昭和六年度の運動は、本部及支部を通じて前年度よりも潜行的に、政治教育運動に傾注されたと見られる。六年九月の府縣會選擧に對する運動、及び七年二月の婦選デーの如き其著しきものである。

昭和六年度末（昭和七年三月卅一日）に於ける會員總數は一七六二、支部總數十三、其分布一道三府四十三縣到らざるなく、臺灣、樺太、朝鮮、滿洲より英、米に及ぶ。

二、第八回總會

昭和六年四月五日午後一時より、神田區美土代町東京基督敎青年會館に開催、出席者八十名。

一、挨拶　總務理事

二、昭和五年度會務報告（會務理事代理、各委員長、地方支部代表）

三、昭和五年度會計報告（會計理事）

四、議案

1. 規約改正案（可決）

イ、中央委員十五名を廿名に增加し、中央委員會を決議機關とす。

ロ、理事三名を五名に增し、幹事長制度を確立し理事會をして執行機關たらしむ。

2. 昭和六年度運動方針（可決）

一、完全なる婦人公民權案の兩院通過

二、全國各府縣、特に未開拓の府縣を遊說すること

三、全國各地方に支部を組織し、支部に於て所在地自治政の研究並にこれが改善のために努力すること

決議

我等は第六十議會に於て完全婦人公民權案の兩院通過を期し飽迄これが實現に努力せんことを期す。

3. 昭和六年度豫算（可決）

五、役員選擧（茶菓）

同夜同所に於て懇親晩餐會を開く、出席者卅六名。

三、第一回評議員會

四月六日夜、本部事務所に於て開催、黑部（京都）渡邊（小石川）坂本（城南）各支部代表及本部中央委員たる評議員出席合計十七名。選擧法の改正其他につき意見を交換す。

四、創立七周年記念會

十二月十三日午後一時より、神田區駿河臺東京キリスト敎女子青年會館に開催、本年は舊中央委員諸氏を招待して特に舊交を溫むるを主眼とした。出席者四十四名。司會坂本、挨拶市川、思ひ出話中澤美代、其他余興福引

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

があつた。

五、他團體との關係

國際婦人參政權及平等市民權協會のロンドン本部に於ける委員會に對して、日本基督教婦人參政權協會、及び婦人參政同盟の要求によりかれての分擔を變更し、改めて婦人勞働問題を分擔、本會員にて、內務省社會局工場監督官補谷野せつ氏に委囑。尙別に本會內に、本部に於ける五委員會に該當する委員を設け、法律（八田篤子）婦人巡査（藤田）私生兒問題（石本靜枝）婦選一般（市川）婦女禁賣（新妻）分擔した。

東京聯合婦人會には前年に引續き、大橋豐喜氏を代表委員としたが、仕事としては、十一月十五日の欠食兒童基金に協力せるのみで他は積極的に參加しなかつた。

婦選獲得の共同戰線については、無產婦人同盟、日本基督教婦人參政權協會、參政同盟との間に十二月十日まづ協議會を開くを得、一月廿二日婦選團體聯合會を組織、總選擧、臨時議會等に聯合運動を續けた。全關西婦人聯合會には、十一月の大會に、メツセーヂを送つて協力を期した。

六、本　部

▽本部役員

中央委員 ＝ 第八回總會で選擧された廿名の中央委員は、市川房枝、石本靜枝、富澤美穗、大橋豐喜、小野誠子、渡邊とめ、河崎なつ、金子　茂、武田臻子、乘杉嘉子、熊倉ミサホ、前島ふく、兒玉琴枝、坂本眞琴、北澤　玉、宮川靜枝、平井恒子、平田のぶ、藤田たき、鈴木　澄で、內小野、渡邊の二氏は小石川支部事件の爲五月、兒玉

琴枝氏は多忙のため五月、平井氏、鈴木氏は家事上の都合で十月、石本氏は十二月、何れも多忙の爲め辭任、これに對し、武知英與、大坪英子、加藤梅子、熊岡貞子氏補欠として就任、尙兒玉氏は三月再任。欠員一にて、三十六回の中央委員會を開會した。

理事 ＝ 四月六日の第一回中央委員會で互選の結果、總務理事　市川房枝、會務理事　河崎なつ、會計理事　坂本眞琴、理事　藤田たき、石本靜枝の五名當選を見たが、藤田氏就任を受諾せず、渡邊とめ氏を補欠。其後渡邊石本兩氏辭任に對し、藤田、前島ふく氏補任、三月坂本氏辭任に對し、富澤美穗氏補任。改めて前島氏を會計理事に推した。

幹事長は、四月十三日第一回理事會に於て金子茂氏選任。

理事會の會合數は四十回に上り、新規約によつて、會務諸般の執行に務めた。

會計監督 ＝ これも本年度よりの新制度で、最初渡邊とめ氏就任、同氏辭任後前島ふく氏就任。同氏會計理事に轉じた後は加藤梅子氏これに任じた。

▽職員及事務所

本部職員は金子幹事長の下に、會計幹事兒玉勝子、幹事宮川靜枝、事務小泉みつの諸氏前年に引續き勤務、「婦選」事務の爲に五月就任した高田まつよ氏は三月末辭職、阿波給仕が新に雇入れられた。

多年懸案の事務所は、十月四日麴町三丁目十三番地に移轉、電話も新に購入架設を見た。（九段二七二九番）

▽委　員　會

新規約により、各委員長は理事會に於て左の如く推薦決定。

議會 ― 市　川
政教 ― 藤　田（後に富澤、更に平田）
會員 ― 武　田
財務 ― 渡　邊（後に前島）
出版 ― 鈴　木（後に金子）
調査 ― 乘　杉（後に大坪）

別に互選にて副委員長を中央委員以外の委員中より決定、各委員會の委員數は最低五名とし、委員長會議を毎月一回理事會と合同にて行ふと共に、委員會事務一般には、宮川幹事をして專任せしめた。

1. 議會運動委員會

六年度は、制限公民權案の貴院否決の後をうけ、完全公民權の兩院通過を期して、貴族院並に政府側に對する運動を開始した。

所が九月十八日の滿洲事變突發を契機として起り、急激な勢を以て瀰漫した反動的思想は、國民の間に議會思想否認、獨裁政治の要求を強くせしめ、從前贊成者であつた議員で反對論を唱ふるものが續出するにいたつた。同時に政府政黨自身は貴族院での否決におそれをなして態度を曖昧にするにいたつた。

一方第六十議會は解散、第六十二議會は、緊急議會として開會されたため、案そのものの提案さへ不可能ならしめ、前進どころか、むしろ後退した結果となつた。

尤も運動自身は、一月以來、無產婦人同盟を新に迎へて五團體より成る聯合委員會の組織がなり、二月二十日の總選擧を中心として、全國婦選デー其他の催しを行ふと共に、第三回婦選大會の計畫を進める等、活潑に行は

れた。尙個々運動の概略を述ぶれば

貴族院 ― 第五十九議會以後公民權關係の議員を訪問、情報を得ると共に今後の努力を切望した。尙一方それ等の中の有力議員三氏との懇談會を七月二日夜開催、貴族院政策を協議した。然してその爲の運動の一つとして婦選ニュースを發行することにし、十一、十二月二回發行した。

民政黨 ― 若槻內閣は第六十議會に公民權案さへ提案せざる方針であつた。一月二十五日聯合委員會代表訪問の際態度極めて不鮮明であつた。

政友會 ― 犬養氏を首班とする政友會內閣は、從前の關係上當然完全公民權案を提案すべき行掛りであつたが一月二十九日訪問の際、首相は、明答を避けた。

委　員 ― 竹內、坂本、前島、武知、小野氏が或期間委員として努力されたが、一月以降は加藤、大坪の兩氏が聯合委員會代表として委員長と共に盡力された。（委員長　市川房枝）

2. 政治教育委員會

委　員 ― 四月藤田たき氏委員長に就任せるも、理事に就任せるを以つて富澤美穗氏之に代り、同氏亦理事となるに及び平田のぶ就任す。委員は四月新年度初めには、富澤、平田、西島嘉英子、杉森孝子の諸氏就任せしも多忙のために、西島、杉森二氏辭任、坂本テイ氏新に就任した。

運動方針 ― 政治教育の根本目的は「婦人は一票を與へられてゐない」といふことが、如何に婦人自身にとつて不利益であるか、又それが如何に國家全體にとつて損失であるかを、ハツキリ認識するに依つて婦選獲得の運動に全婦人が協力すべき義務を痛感し、更に、獲得後の行使、即ち、獲得したる一票を婦人自身のために、最も効果的に行使出來る準備をもする事にある、然して此事の目的を達するためには、本年度は支部を通じて實行する

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ことを方針と定め、その示針ともなりたいと、本部計畫を立てたが、委員長の更迭多く未完に終つたものもある

一、市政クラブ ＝「東京市に在住する者は凡て市政につきその判斷を持たなくてはならぬ、殊に置忘れ勝の婦人及子供のための諸施設に對する要求をもつて、當局を動かすことが必要である。」との考へより、市政に關係ある事業に直接從事せる專門家を以て組織した。

（會員名）

生田八栗（淺草寺婦人會館相談所主任）
大屋梅（二葉保育園母の家主任）
德永恕（同上　主事）
谷野セツ（内務省社會局工場監督官補）
丸山千代（櫻楓會托兒所主任）
龜井孝（東京府日白授産場主任）
木内キヤウ（志村第一小學校長）
福岡やす（東京府千駄ヶ谷授産場主任）
竹内茂代（女　醫）
末田ます（東京市保健局公園課）
安齋とみえ（Y・W・C・A有職婦人部幹事）
藤間あさよ（榎町市民館保健婦）
定方かめよ（聖ルカ病院學校診療所主任）
齋藤みどり（同上公衆衛生看護婦部主任）
小栗將江（同上メディカル センター）
平田のぶ（子供の村保育園、母様學校主事）
土橋いよ子（同上保姆）
石本靜枝（日本產兒調節婦人同盟理事長）
河崎なつ（文化學院教授）
柳八重（日本中央放送協會調査課）
藤田たき（女子英學塾教授）
山口君江（東京市史蹟保存會）
山室民子（救世軍調査課長）
富澤美穗（立教女學校教諭）
北井ますゑ（本所市民館保姆長）
日比野操（帝大セツルメント保姆）
兒玉琴枝（女　醫）

七

以上のメンバーで、七月十六日初顔合せ、九月より各メンバーの職場の見學及意見交換をすることに決定し次の如く實行した。

九月　市設公園
十月　聖ルカ病院
十一月　救世軍療養所
十二月　淺草寺婦人會館
一月　二葉保育園
二月　西窓學園
三月　子供の村保育園

二、時局問題研究會（前年度よりの繼續事業）

五月　「國民會議を中心とする支那事情」　大西齋氏
七月　モラトリアムとその經濟的影響　牧野輝智氏
九月　滿蒙問題について　信夫淳平氏
十月　時局と國際聯盟　赤松祐三氏
十一月　世界金本位制崩壊と我國金再禁止問題　山崎靖純氏
二月　金再禁止後の情勢とインフレーション、デフレーションについて　野田豐氏
三月　軍縮會議について　安富正造氏

三、遊説

月日	地名	主催	講師
四月九日	千住	政治研究會	金子
同	横濱	友の會	市川
同　十七日	仙臺	黎明婦人會	石本
五月三十日	清水	黎明會	市川
六月七日	岡崎	女教員會	市川
同	愛知	女子青年團	同
六月九日	松山	海南新聞（座）	市川、金子
同　十日	同	本會	同
六月十日	松山	濟美高女	市川
七月十九日	鶴岡	莊內新報社	市川、河崎、和崎
七月二十日	同	山形縣立鶴岡高女	河崎
同	横手	横手婦人クラブ（座）	市川
同	同	同	和崎、市川、河崎
同　廿一日	湯澤	アゲマキ會	同上
八月三日	甲府	山梨民友主催公民講座	金子
同　八日	東京	マルキン醸造部文藝部主催夏期大學	河崎
同　十三日	宮城	鳴子温泉夏季大學	市川
同　二十日	函館	函館新聞社	市川、石本
同　廿二日	小樽	二葉會	市川、石本、河崎
同　廿三日	札幌	婦人問題研究會	市川、石本、河崎
同　廿六日	長岡	苅羽支部	市川、金子、和崎小出
九月九日	前橋	前橋支部	市川
同　十五日	京都	京都支部	市川、宮川
同　廿日	伊勢崎	伊勢崎支部	坂本、河崎
同　廿二日	神戸	兵庫縣支部	市川、金子
十月七日	京都	京都支部	市川、金子
一月廿三日	熊本	熊本支部	金子
二月十三日	京都	京都支部	藤田
同　十八日	京都	京都日日新聞社	金子
同	大森	大森婦人會	市川
同　十二日	東京	Y・W・C・A	河崎
同　十四日	横濱	婦風會支部	市川
同　十九日	東京	Y・W・C・A	市川

以上の表で示された如く、本年は北海道に新たに進出した。

三、其他の運動

▲全國小學校女教員大會（五月十七日）開催を目ざし、帝國教育會に於て、有志を招待、懇談をなす。

▲全國高等女學校長協會總會（六月十一日）席上に「婦選」を配布して、我同盟の主張を宣傳し、翌日開催された全國高等女學校長會議には、同協議題第二號議案「女學校に於ける公民科教授上特に注意すべき事項」をリードするため、同委員會へ要求書を提出した。

▲全國中等女學校女教員大會の開催（八月二日）に際しては、同會に出席された婦選の會員を招待し懇談す。

▲府縣會議員選擧には各支部を通じて、立候補者へ質問書を送り、リーフレットの配布、講演會等を開いて輿論喚起につとめた。

九

3. 會員委員會

委員、堀越敏子、大橋豐壽、加藤桁子、武田勝子（委員長）黒田規矩子、八代よし子、北澤王子

右の中大橋豐壽氏は十月理事會の依頼によつて財務委員會へ轉出、同じく十月來委員長武田勝子氏多忙の故を以つて辭任申出あり、委員長代理に北澤王子氏を推したが、その儘本年度を終つた。

一、會員募集について

	六年度末	前年度末	豫定數	差引
正會員	一、三七五	一、一五八	五〇〇	二一七增
正會友	一六四	一四三		二一增
維持會員	一四三	一三八	五〇	五增
維持會友	四八	三九		九增
特別維持會員	二四	二五	五	一減
特別維持會友	八	八		—
計	一、七六二	一、五一一		二五一

本部支部を通じて增加に盡したが數年來の社會經濟狀勢の不況及び政治思想上甚しく環境が惡かつたため豫定數には及ばなかつたが、それでも二百五十一名の增加會員を得た。

二、支部新設

本年度は前年度に比し、この方面は不振であつて、左記二支部を組織したのみ。

松山支部（愛媛縣）七月四日
横手支部（秋田縣）七年一月廿日

一〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

支部ー計十三

但し札幌、名古屋、山形、呉は目下組織準備中

三、もより會

東京市內會員のためのもより會は五月十六日、七月十二日、十二月五日、七年二月七日の四回、牛込、小石川神田、本郷及西北郊の方面に開いた。

4. 財務委員會

▽財務委員長は初め渡邊とめ氏、後に前島ふく氏で委員は、石本（後に大橋）兒玉の少數であつたから、委員會は理事會と併せ開く方針をとつた。

▽特別維持會員は、この委員會所屬の仕事であるが、昨年より減じた。但しこれは單に名のみの人を整理したからで、この不況時に新になられた人も三名あつた。

▽寄附金も不況時としては好成績で豫算を突破し千圓余を擧げてゐる。（決算表參照）

▽催し物は本年度はやらぬ豫定であつたが、大橋登喜氏の盡力で、人形劇場を九月十三日晝夜買切つて觀劇會を開催、在京會員の支持を得て九百圓といふ豫想外の純益を擧げる事が出來た。

▽三島牛乳の取次　從來から何か生產的な事業で經常費を得たいといふ宿題が、本年遂に遂げられた。即ち竹內茂代、平林廣人二氏の紹介で、三島牛乳を代理部が取次ぐことゝなつたので、質がよい上に値段も安いので、八月開始以來相當に好成績を擧げてゐる。其他バタ、クリーム、オパールなども三島牛乳製品を取次いでゐる。

▽其他代理部の仕事としては良質、廉價の化粧品取次販賣もしてゐる。アラボンガクリーム、同化粧品の二種で兒玉琴枝氏創製にかゝり、初め百五十ヶ寄附、後は實費提供をうけてゐる。又英國選擧ポスターゑはがきも賣出してみた。

大體に於て財務委員會の成績は、この不況時には仕方のない程度だが、勿論これでは足りはしないので來年度の活動を期してゐる。（委員兒玉琴枝）

5. 出版委員會

委員ー大竹せい、森　鎭、平井恒子、鈴木陸、宮川靜枝、兒玉勝子、金子茂、委員長は初め鈴木、十一月以後多忙辭任にて金子代る。副委員長森　鎭。

委員會ー開催度數九回。

前年度に引續き、政教、調查等の各委員會と提携しての活動が實現し得なかつたので、結局、機關紙『婦選』の編輯出版に終始した。前年度に其基礎を固め得た『婦選』の經營は本年は積極的擴大に進むべく、まづ經營の責任を出版委員會と理事會の連帶とし、十一月より經營主任を理事會が任選し、一月よりは廣告の一部を會外の專門家に委任する等種々苦むる所もあつたが、實際に於ては、前年度を突破するに至らなかつた。但しこれは新購讀者一三七名なるに對し、整理したる者一五五名あつた爲に總計として增加になつてゐない譯である。右の約五百の固定讀者以外、各支部扱は約三五〇部、これは增加する一方で、本部宣傳用其他に引續き約千部他は一般書店で販賣してゐるが、まだ大賣捌店を通じて全國への發賣を見るには到らない。會前年度より引續いての保證金千圓の募集總額は本年度末にて、二〇九、六九圓に達した。（委員長金子茂）

6. 調查委員會

委員長粟杉幸子（七年二月辭任、大坪これに代る）副委員長大坪英子、委員熊倉操、稻川いれ、高橋田鶴子（六年十一月辭任）保科和子（六年七月就任）

一、委員會開催度數　九回

二、調查資料　內外雜誌、圖書　國內新聞　內外婦人問題に關する報告、通信、其他

三、所管事項は　事務所の本の整理（熊倉）國內新聞の切拔及整理（稻川）ストリダーマ（印度から來る雜誌）日本雜誌中の婦選に關する記事の調查及整理（高橋）インターナショナル、ウーマンスニュース、イタオールライツ、海外便り（婦選原稿）（粟杉）ウーマンスリーダー（保科）ヴォート（大坪）各分擔。

以上の海外書籍中婦選に關する必要記事等を調查整理し尙其中より適當なるものを雜誌の海外婦人欄の婦選ニユースの材料として提供。

四、特筆すべき事項

英國總選擧のポスターの蒐集　一九三一年十一月の英國總選擧のポスター及びパンフレットを集めたいと思ひ各政黨、各婦人候補者及び彼地在住の知人へ文書にて依賴す。集りしもの約五十枚、其中婦人及び子供に關するものを選んで繪葉書に印刷。

ポスター展覽會　日時昭和七年一月廿二、三兩日　會場於女子キリスト敎青年會館

蒐集せるこれ等ポスターを飜譯して宣傳、敎育のため二月廿日の我々の總選擧より約一ヶ月前の一月廿二、三兩日にわたり女子基督敎青年會館にて展覽會開催、衆議兩議員、會館特別關係者、婦人團體各委員及び新聞社にポスター展の案內廣告をなし約五百名ばかりの入場者を得。其後此等のポスターを女子英學塾、男子キリスト敎青年會にも貸す。

婦選獲得同盟の支部所在地一回以上遊說に行きし地及び近き將來に於て支部になる可能性のある地を表はす地圖を製作す。

しなければならない事、又したいことはまだ〳〵あつたが種々の事情で思ふ樣に運ばなかつた。忙しい中を每會出席指導された市川總務、宮川幹事には負ふ處多し。（委員長大坪英子）

七、地方支部

△秋田支部

會員　一二五名

役員　幹事　田畑　染、伊達昌代、早瀨松野、湊　クニ、大嶋シユン、小坂キクエ、信太ヤエ、渡部キヨ、高山志津、和崎ハル

△第一回總會　七月十八日[illegible]圖書館に擧行、同夜記念館に記念大講演會開催、本部より市川、河崎兩理事出演。聽衆千七八百の盛況。

△府縣會議員選擧への運動

（一）秋田婦人聯盟、基督敎婦人參政權協會秋田支部との共同運動。

八月廿九日　土崎町に第一回淨化演說會、支部出演者早藤、田畑、和崎。

九月十二日　同第二回を秋田市に開催。出演は前記三名に富樫ツル。

同　十九日　同第三回を縣下旭川村に開催。和崎、田畑、早藤、富樫出演。

（二）支部單獨運動

九月十三日　角館町に、同夜大曲町に淨化講演會開催。出席者和崎、田畑、增村キク、富樫、橫手より藤井初重金澤德子來援。

同　廿三日　能代町に同第三回を、同夜神村に第四回を開催。和崎、佐藤みつ出演。

同　十六日　神戶女子青年團總會に、和崎出演。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

以上の運動の他出演者に於けるビラまき、會員の政府演說會傍聽、各立候補者への問合せ發送を行つた。
九月九日には東日支局主催の座談會開かれ、沼　クニ、沼　ツネ、以下十一名出席した。

▽創立一周年記念會

十二月六日　圖書館に擧行。

▽第三次普選に對する運動

二月一日　千屋村男女青年團主催、高階ぱるよ、竹名小芳、和崎出演。
同　九日　神宮寺町にて支部主催、田畑、内藤セイ、金澤、高橋。
同　十日　本庄町におけるる會支部主催・竹名、内藤、田畑、金澤、和崎。
同　十一日　各候補者へ賛否問合せ往復ハガキ發送。
同　十二日　船川にて支部主催。前記五名に栗沖巴奈加、この日立看板を市中五ヶ所に立てる。
同　十三日　婦選デー、市内四ヶ所でビラまき。
同　十四日　新庄、右五名。
同　十六日　能代港、右五名、聽衆二千。

△横手支部

會員　二五名
役員　和賀リツ、澤田ウメ、宇留野みどり、奧谷とみ、金澤德一。
一月廿七日　發會式擧行。
二月十三日　婦選デー、市内四ヶ所でビラまき。

△群馬支部

會員　四七名
役員　支部長　八木橋きい、幹事　吉野せい、吉田みのぶ。
九月九日　縣會選擧に對する運動として講演會を前橋市共榮館に開催。本部より市川總務出演。
同　廿日　同じ講演會を伊勢崎町に開催。本部より河崎、坂本兩理事出演。

△新潟支部

會員　三三名
役員　支部長　小出チカ
八月廿六日　夜長岡市に於ける同盟主催の講演會に小出支部長出演。

△刈羽支部

會員　三四名
役員　幹事　田中きん、倉田くら
八月廿六日　夜長岡市に於て、婦選講演會開催に田中幹事奔走。其後は休止狀態にて年度末に到る。

△金澤支部

會員　六〇名
役員　支部長　駒井靜子

幹事　米山久子、鈴木芳子、津川松尾、勝木みどり、岡本芳子
九月十四日　府縣議選擧の講演會を公會堂に開催。本部より市川總務、宮川幹事出演。
同　十九日　大聖寺町にて太陽社と共同開催演說會、駒井、米山、岡本出演。聽衆千三百。
同　廿三日　小松町有志の手で同じく開催。駒井、米山、岡本、勝木、津川出演。聽衆二千。
二月十三日　婦選デー、市内ビラまき。全關西請願署名五百枚。

△京都支部

會員　八五名
役員　支部長　黑部妙子
幹　事　榊原彌生、明石幸子、松下郁代、石田菊子、永富つち
七月廿七日　市聯合會館に第一回自治政研究會開催。講師市川市保健部長。出席者六十名。
八月　三日　第一回見學、市衛生試驗所、市立病院、市立療養所、參加者廿二名。
九月十五日　夜三條青年會館に對府會選擧の「公民教育講演會」を市社會教育課後援にて開催。本部より市川氏出演の他、大朝社の恩田和子、京大教授黑田覺氏出演。
十一月七日　支部創立一周年記念講演會を京都日々新聞社講堂に開催。全關西婦人聯合會大會に出席の、武田清（吳）米山（金澤）和崎（秋田）金子（本部）に黑部支部長の五名出演。
二月十一日　婦選デーのビラまき。
同　十三日　三條青年會館に、基督教婦人參政權協會京都支部、婦人同志クラブ京都支部と共同主催で、對府議選擧の講演會開催。本部より藤田理事出演。

△兵庫縣支部

會員　六五名
役員　幹事　岩村幸　新妻伊都子
九月廿二日　縣社會教育課後援にて神戸女學院講堂に「公民教育講演會」開催。本部より市川、金子來演尚縣會選擧に對しては、候補者への問合狀發送、ビラまき等も行つた。
二月十三日　婦選デー、矯風會と共同してビラまき。更に全關西と三團體共同にて大朝支局樓上に座談會開催。

△廣島支部

會員　二九名
役員　武田清子、村上安惠、林　秀子、酒井キクノ
二月十三日　婦選デー。吳支部創立の下準備として各婦人團體聯合示威運動を行ひ、市長訪問、新聞社歷訪の後ビラまき。ポスター、全關西の請願書も分擔した。廣島では立看板を市内に立て、ビラは新聞に折込とした。

△松山支部

會員　二六名
役員　幹事　片岡初枝、西原きよ子、竹田津春江
七月四日　愛媛青年會館に發會式擧行。
八月十二日　對縣會選擧運動協議會。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

九月十日 縣會立候補者へ問合發送。
同 廿二日 縣會選擧淨化のビラを新聞折込とする。
二月十三日 綜選デー、ビラを新聞に折込む。

△熊本支部

會員 六五名
役員 常任幹事 平野松枝、松本キヨ、赤峯千代、石坂多喜子、菊本テル、大原みさを
書記 大畑妙子、山下恒子
會計 川邊みち
一月廿三日 市公會堂に「婦人問題講演と劇の夕」を開催。本部より金子幹事長出演。
二月十三日 の綜選デーは、延期してビラを新聞に折込み配布。

△城南支部

會員 五二名
役員 幹事 坂本眞琴、川久保かづの（會計）萩原すゞ、加藤いし、吉村郁瑠子、大木眞子、浦田喜代江
（書記）
上半期は會員及役員の移動多く、座談會は時々開きしも、研究會は怠る。下半期は下記の如し。
十月三日 部會
十一月七日 研究會、講師関地與四松氏出席廿二名。

十二月十二日 研究會、講師同上、出席十八名。
一月廿七日 茶話會
二月廿五日 部會

△小石川支部

會員 四六名
役員 幹事(準) 八田篤子、栁 八重子
五月 支部役員辭任の後、特に積極的活動をなさゞるまゝにて年度末に及ぶ。

昭和六年度決算報告

「一般會計の部」

入金合計	六二三三、六二
内譯	
繰越	一九、五九
借入金	一五六、二〇（備考參照）
會費	三七七一、五〇
正會員費	八〇九、五〇
維持會費	一二八二、〇〇
特維持會費	一六八〇、〇〇

寄附金	一〇六七、五五（別項參照）
事業費	一〇六一、三四
雜收入	一五七、四四
出金合計	六二一九、一四
内譯	
俸給	二六六三、〇〇
事務所費	一三〇六、五一
家賃	四四一、四九
光熱水	五七、二〇
文房具	一三四、六一
通信	二二五、四五
電話	二四〇、三一
交通	五九、六七
公課	七、九〇
集會	九五、〇〇
雜費	四四、八八
運動費	二二三九、五四
議會	一一四、九五
政談	四五六、一三

會員	七三、二一
出版	四八八、一三
調査	八四、五一
財務	二二、六一
會合費	一一六、一〇
印刷費	一三八、四〇
交際費	二七九、四五
共同運動費	二四、六四
臨時費	七七、二六
會費割戻	二三〇、八五
電話基金	一一四、五二
備品	二八、八七
差引殘高	一四、四八

（備考）

昭和五年度より繰越の借入金	七六七、〇〇
六年度中借入金	二五八、二〇
六年度中返濟金	一〇二、〇〇
差引七年度へ繰越借入金	九二三、二〇

右内譯

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

竹内茂代氏より　一四五、〇〇
田中芳子氏より　七〇、〇〇
河崎なつ氏より　七〇、〇〇
市川房枝氏より　五四三、二〇
金子　茂氏より　七五、〇〇
婦選ニュース會計より　二〇、〇〇

昭和六年度寄附金内譯

一般寄附 ― 某　氏（二〇〇、〇〇）　ガントレット恒子氏（一二〇、〇〇）　市川房枝氏（一〇七、〇〇）石倉己百氏、石川武美氏（一〇〇、〇〇宛）　田中芳子氏（九八、〇〇）　門野りよ氏（五〇、〇〇）小石川支部（四三、八〇）　藤田たき氏（三一、〇〇）　岩佐富貴子氏（二六、〇〇）　星野愛氏（二一、〇〇）　竹内茂代氏（二〇、〇〇）　山道コマツ氏（一九、〇〇）　武田睦子氏、中野てい氏、古田とみ氏、都留いよ氏（各一〇、〇〇）　奥澤とき氏、トマス、ペーテーン氏（各五、〇〇）　山川房子氏（二、〇〇）　刈羽支部（一、八〇）　小原スヱ氏（〇、二〇）

選擧革正寄附

三谷民子氏、林歌子氏、植村まり子氏、（各五、〇〇）　永井次代氏（三、〇〇）　前嶋英代氏（二、五〇）齊藤つる氏、鳥潟さい氏、加藤清子、大畑妙氏（各二、〇〇）　丸山千代氏、中林照子氏（各一、五〇）　前田つぎ氏木内京氏、黒田規矩氏、山田わか氏、加藤ひさ氏、斯波安氏、平尾とき氏、上代たの氏、安保梢氏、水口栞氏、羽中田愛子氏、市原キヌ氏、伊藤紀子氏、熊倉みさほ氏、中島とき氏、小久保きの氏、兒玉琴枝氏、伊藤

ふじみ氏、澁谷智恵氏、田中喜久氏、中里邦氏、高倉つね氏、所久惠氏、藤岡歌代氏、清水せつ氏、甘糟英子氏、野崎靖子氏、菰原智澤氏、江口禮以子氏、中山清子氏、（各一、〇〇）　奥井喜美氏（一、六〇）　星野きん氏田中はぎ氏（各〇、五七）　高橋とよ氏（〇、五一）　前島のぶ氏、井上多美氏、富永小梅氏、瀧澤あさじ氏村上安惠氏、竹田津洛江氏、三平清子氏、武田愛子氏、越智キヨ氏、堀場雪子氏、西富秀子氏、廣瀬元子氏石野ため氏、毛利みち氏、武部正子氏、金子敏子氏、戸田きん氏、淺野せつ氏、眞中すゞ氏、遠藤八重子氏紳田篤子氏、林秀子氏、堀越敏子氏、中澤つる氏、池中キクヱ氏、長谷川とめ氏、小林富尾氏、岩村幸氏（各〇、五〇）

〔特別會計の部〕

『婦選』昭和六年度決算報告

一、收入總計　二七六五、四九

内譯

前年度繰越	二七、三〇
誌代	一〇四八、三九
廣告料	一一五二、〇〇
本部補助	四八〇、九五
本部より返濟金	五〇、〇〇
雜收入	六、八五

二、支出總計

内譯

印刷費	二一三六、七八
編輯費	一三三、五三
發送費	一三五、六九
通信費	五七、六五
交通費	九〇、四三
文房具	六九、四四
謝禮	八、九〇
宣傳費	二、四九
廣告歩合	九九、五五
雜費	七、四八
割戻	一七、〇一

三、差引残高　六、五四

『婦選』保證金基金報告

前年度より繰越	一三、〇〇
昭和六年度寄附總額	一九六、六九
累計	二〇九、六九

寄附者芳名 ― 佐藤ミヤ氏、市川房枝氏（各〇、五〇）　前田たま氏、堀場雪氏、丹下ロシヱ氏、山室民子

石本靜枝氏、河崎なつ氏、坂本眞琴氏、宮川靜枝氏、飯野とき氏、羽中田愛子氏、前田つぎ氏、河野久子氏上代たの氏、小原スヱ氏、井上まつ氏、刈谷みち氏、水口　栞氏、千本木道子氏、伊藤紀子氏、（各一、〇〇）内池よね氏、木内キヤウ氏、黒瀬エイ氏（各一、五〇）　平野翔枝氏、高良野澄氏、赤城靜子氏、内田あぐり氏、北村ズヾヱ氏、野村正子氏、村上安惠氏、高橋伊都子氏、藤田たき氏、尾方また氏、故虫明能子氏、八代よし子氏　南條ひさえ氏（各二、〇〇）　楠田コマ氏（二、〇九）　信夫澄子氏（二、六〇）　菅井せい氏池田榮氏、石橋菊子氏、西森元氏、林　秀子氏、大畑妙子氏、（各三、〇〇）　金子　茂氏（四、〇〇）　加藤梢子氏（四、五〇）　沼澤　孝、中村君子氏、片桐梅子氏、中里邦子氏、盤江操氏　（各五、〇〇）　服部英明氏（一〇、〇〇）　湯目孝子氏（二〇、〇〇）　野依秀市氏（六〇、〇〇）

右寄金は田中芳子氏より公債を以て借用せる『婦選』保證金壹千圓を返濟の目的の下に前年度より行はれたるものなり。

『婦選ニュース』決算報告

收入

寄附	七八、〇〇

支出

發行費（二回分）	五六、二〇
本部へ借出	二〇、〇〇
差引残高	一、八〇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

代理部決算報告

一、牛乳（二月まで）

賣上	七六四、九〇
支拂	六一六、一二
諸雜費	四八、二三
純益（本部會計へ繰入れ）	九六、七六
差引殘高	三、七九

二、其他

收入	八三、七〇
繰越	三、二〇
賣上	八〇、五〇
支出	八三、五六
支拂	五四、九三
諸雜費	二、〇三
純益（本部繰入れ）	二六、六〇
差引殘高	〇、一四

人形劇場觀劇會決算報告

收入（賣上）	一五四七、〇五
支出（人形劇場へ支拂及諸雜費）	六〇九、〇七
差引殘高（純益）（本部會計へ繰入れ）	九三七、九八

家賃敷金

一五〇、〇〇

六年度當初額は三〇〇圓であつたが、十月移轉に際し一五〇圓に減じた爲、差額一五〇圓は本部會計に繰入れた

電話購入借入金

八〇〇、〇〇（市川藤市氏より）

右

會計理事 前島ふく
會計幹事 兒玉勝子
會計監督 加藤梅子

婦選獲得同盟第九年々次總會

昭和七年四月廿九日を以て擧行の豫定であつた第九年次總會は、その前日に至つて小石川、城南兩支部及北海道、台灣、朝鮮、樺太、滿洲を含む會員名簿一册分の會員約二百名に總會通知狀發送洩れの事實を發見した爲止むなくこれを延期し、當日は秋田、新潟、横手、兵庫、群馬、熊本、京都等の支部代表の出席ありしを以て報告及協議を一通り行つた。かくて改めて第九年次總會は、六月廿六日（日）午後一時半より、神田駿河台東京キリスト敎女子靑年會館に於て開催、司會者富澤英穗氏。

開會の辭、婦選の歌合唱に次で、市川總務理事の挨拶を經て、議事に移る。議長市川氏、會務報告、河崎會務理事病氣の爲金子幹事長、各委員會報告、平田政敎委員長、市川議會委員長金子出版委員長、大竹調査委員長、加藤會員委員、兒玉財務委員、各支部報告、金子幹事長、會計報告、前島會計理事、を終り協議に入る。

一、規約改正の件、（平田のぶ氏説明）は從來の特別維持會員及會友を贊助員と改稱の原案を可決。

二、本年度の運動方針、（藤田たき氏説明）は、（一）婦人公民權をおいて一般參政權獲得に邁進すること。（二）一般婦人大衆への公民敎育の徹底、（三）各府縣に支部設置の他、新に四、婦選問題以外の事でも婦選に關係深かき事に對しては實際運動を行ふこと全部可決。

三、豫算の審議（前島會計理事説明）は別項通可決。

次で役員選擧に移り、委員長藤田つぎ氏より、候補者中より坂本眞琴氏除名の報告あり、開票立合人四名平井恒子、加藤濤子、高橋鐵瀬、中澤ツルを指名直ちに開票に入る。時に三時半。約三時間を要してこれを終る。

當選者 市川房枝、金子茂、平田のぶ、宮川靜枝、河崎なつ、藤田たき、兒玉琴枝、富澤英穗、前島ふく、加藤梅子、大竹英子、加藤ひさ、藤田つぎ、平山信子、熊倉みさほ、武知美與、北澤玉、大橋登美、稻川いれ、八田篤子

最後に再び婦選の歌を合唱、大橋警蔵氏の閉會の辭にて六時半會を閉じた。

昭和七年度豫算

一、總會計の部

支出の部	七三一一、二〇
内譯	
俸給	二六〇〇、〇〇
事務所費	一二〇三、〇〇
家賃	三六〇、〇〇
光熱水	六〇、〇〇
文房具	一三〇、〇〇
通信	二二〇、〇〇
電話	二四〇、〇〇
交通	四〇、〇〇
集會	一一〇、〇〇
公課	一二、〇〇
雜費	三〇、〇〇
會合費	一六五、〇〇
印刷費（會報三回分其他）	一一〇、〇〇
交際費	二九〇、〇〇
加盟費	三五、〇〇
臨時	三〇、〇〇
備品	三〇、〇〇
返濟	九二三、二〇
運動費	一五七〇、〇〇
議會	二〇〇、〇〇
政敎	五〇〇、〇〇
會員	二二〇、〇〇
出版	五〇〇、〇〇
調査	一〇〇、〇〇
財務	五〇、〇〇

電話基金（利子及元金返濟）	一五六、〇〇
會費割戻	二〇〇、〇〇
二、收入の部	七三一一、二〇
内譯	
繰越	一四、四八
現在會員會費	四三〇〇、〇〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

正會員	一〇〇〇、〇〇
維持會員	一五〇〇、〇〇
賛助員	一八〇〇、〇〇
増加會員會費	九〇〇、〇〇
正會員	二〇〇、〇〇
維持會員	二〇〇、〇〇
賛助員	五〇〇、〇〇
事業費	一六五〇、〇〇
催物一回或は二回	一〇〇〇、〇〇
代理部牛乳	六〇〇、〇〇
其他	五〇、〇〇
寄附	四四六、七二
特別會計の部「選擧」	
收入の部	三四四六五、四
誌代	一五二〇、〇〇
現在購讀	一〇四〇、〇〇
増加	四八〇、〇〇

廣告	一四四〇、〇〇
補助	四八〇、〇〇
繰越	六、五四
支出の部	三四四六、五四
印刷費	二四〇〇、〇〇
編輯費	二一六、〇〇
發送費	一四四、〇〇
通信費	七二、〇〇
交通費	八四、〇〇
謝禮	一二〇、〇〇
宣傳費	四二、五四
廣告歩合	三三六、〇〇
割戻	二四、〇〇
雜費	八、〇〇

昭和七年六月改正

大正十三年十二月十三日創立

宣言と規約

東京市麹町區麹町三丁目十三番地
婦選獲得同盟
電話九段二七二九番
振替東京七〇三八三番

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

宣　言　（於昭和七年六月廿九日第九年大總會）

我等は次の如き理由によつて婦人參政權、婦人公民權及結社權を要求し、これが獲得のために努力せんとするものである。

一、婦人及子供に不利なる法律制度を改廢しこれが福利を増進せんが爲に
二、政治と臺所の關係を密接ならしめ、國民生活の安定を計ると共に其の自由幸福を増進せんが爲に
三、選擧を革正し、政治を淨化し、公正なる國民の政治となさんが爲に
四、世界の平和を確保し、全人類の幸福を増進せんが爲に

併して一方、婦人參政權を獲得したる場合之が行使を完全ならしむるため、政治に對する婦人大衆の關心を喚起すると共に、政治に對する理解を廣め、且つ深めることに努力せんとするものである。

尚我等は右の目的の達成の爲には、進んで各團體と協力するが、政黨に對しては飽く迄中立の立場を保持し、婦人としての獨自の立場をとるものであることを宣明する。

規　約

第一章　名稱及事務所

第一條　本會は婦選獲得同盟と稱し、其の本部を東京に置く。

第二章　目　的

第二條　本會は婦人參政權の獲得、並にこれが行使に備ふるため、一般婦人に對しで政治教育を行ふを以てその目的とす。

第三章　會　員

第三條　本會の趣旨に賛同するすべての婦人を會員とす
第四條　會員は左の二種よりなる
正　會　員
維　持　會　員
第五條　正會員は會費として年額壹圓を、維持會員は同じく年額金拾圓を醵出し何れも會報の配布を受くるものとす。
第六條　會員は會費一ヶ年分を前納し、會員證を受くるものとす。

第四章　會　友

第七條　本會の趣旨に賛同するすべての男子を會友とす。正會友は年額會費壹圓を、維持會友は年額金拾圓を醵出し何れも會報の配布を受くるものとす。

第五章　賛　助　員

第八條　本會の目的に賛助し、年額百圓を醵出する男女を賛助員とす。賛助員は本會發行のすべての印刷物の配布を受くるものとす。

第六章　總　會

第九條　本會は、毎年一回四月總會を開くものとす。但し臨時にこれを開く事を得。
第十條　總會は、本會々員、中央委員及本部役員出席の上左の諸項について協議し議決するものとす。
一、本部の運動方針
二、決算及豫算の審議
三、規約の改正
四、役員の選擧
五、其他の必要なる事項

第七章　中央委員會

第十一條　本會に左の役員を置く。
中央委員　二十名
理　事　五　名
會計監督　一　名
幹事長　一　名
委員長　若干名
第十二條　中央委員は總會に於て會員中より選出し、其任期を一ヶ年とす。
第十三條　中央委員は中央委員會を組織し左の事項に關する決議を行ふものとす。
一、總會に於ける決議の實行に關し必要なる事項
二、其他會務の執行に必要なる事項
第十四條　中央委員會は毎月二回例會を開くものとす。但し必要に應じ臨時これを開くことを得
第十五條　中央委員會は中央委員半數以上の出席あるにあらざれば開會することを得ず。
第十六條　中央委員にして正當なる理由なくして三回以上連續して中央委員會を欠席したる場合は、中央委員の資格を失ふものとす。而してこれが欠員は、中央委員會に於て補選するものとす。
第十七條　中央委員は、第三十二條に掲げたる何れかの委員會に所屬するものとす。
第十八條　會計監督は中央委員中より互選し本會會計の監査に當るものとす。その任期は一ヶ年とす。

第八章　理事會

第十九條　理事は中央委員中より互選し、左の五名より成る。
總務理事　一　名
會務理事　一　名
會計理事　一　名
理　事　二　名
その任期は一ヶ年とす。
第二十條　理事及幹事長は理事會を組織し中央委員會に於ける決議の執行並に緊急なる會務についての決議並に執行に當るものとす。
第二十一條　理事會は毎週一回定例會を開くものとす。但し必要に應じて臨時に開くことを得
第二十二條　理事會は半數以上出席するに非ざれば會合を開くことを得ず。
第二十三條　總務理事は本會を代表し、本會の連絡統一をはかると共に總會、評議員會並に中央委員會の議長となる。
第二十四條　會務理事は本會の一般會務を處理し、總務理事不在の際はその代理をなすものとす。
第二十五條　會計理事は本會の金錢出納に關する事務を處理し、本會に屬する一切の財產の保管をなすものとす
第二十六條　幹事長は中央委員中より理事會之を任命するものとす。
第二十七條　幹事長は理事會の指揮を受けて、會務の實務に從事し職員の統率に當るものとす。
第二十八條　理事會は會務を執行するために幹事を置くことを得。

第九章　評議員會

第二十九條　支部長各委員會委員長及中央委員を以て評議員會を組織す。
第三十條　評議員會は中央委員會これを召集し、本會の重要事項を協議するものとす。
第三十一條　評議員會は毎年一回定例開くものとす。但し臨時に開くことを得

第十章　委員會

第三十二條　本會の目的を貫徹するため左の常設委員會を設く
政治教育委員會（一般婦人に對し政治教育普及の運動）
議會運動委員會（政府、議會、政黨に對しての運動）
調査委員會（婦人參政權問題に關する資料の蒐集及調査）
出版委員會（會報の編輯出版及パンフレット等の出版）
財務委員會（資金の募集及豫算の作成）
會員委員會（會員の募集　地方支部の組織）
第三十三條　各委員會は會員中の希望者にして理事會の推薦したる若干名の委員を以て組織す。
第三十四條　各委員長は中央委員中より理事會これを任命し、その任期は一ヶ年とす。
第三十五條　委員長は委員會を統括するものとす。
第三十六條　各委員會は毎月一回以上例會を開き、委員會所屬事項についての研究調査並にこれが實行にあたるものとす。
第三十七條　各委員會に於ける事業並に其の範圍、其他重要事項は中央委員會の決議を經るものとす。

第十一章　地方支部

第三十八條　同一地方に二十名以上の會員あるときは中央委員會の決議を經て支部を置くことを得。
支部に關する規定は別にこれを定む。

第十二章　會　計

第三十九條　本會の經費は會費並に寄附金を以て之に充つ。
第四十條　本會の會計年度は四月一日より翌年三月三十一日迄とす。

第十三章　規約の改正

第四十一條　本規約は大會に於ける出席會員三分の二以上の同意あらざれば之を變更することを得ず。

昭和七年度役員

總務理事　市川房枝　　理事　富澤英雄
會務理事　藤田たき　　理事　金子茂
會計理事　前島ふく
中央委員　市川房枝　稲川いれ　八田篤子　富澤英雄
大橋登喜　大坪英子　加藤ひさ　加藤梅子
金子茂　武知美與　龍岡貞子　熊倉みさほ
前田つぎ　前島ふく　藤田たき　兒玉琴枝
北澤玉　富川靜枝　平山信子　平田のぶ
幹事長　金子茂
會計監督　加藤梅子

昭和七年度の目標

一、婦人參政權の即時獲得
二、一般婦人の公民教育
三、支部を各府縣に設けること
四、婦選以外でも婦選に關係深い問題に對しては實際運動を行ふこと

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦選獲得同盟會報

第十九號

昭和七年九月十日印刷
昭和七年九月十五日發行

非賣品

編輯兼發行人　金子茂

東京市神田區錦町三ノ八
印刷所　聯合印刷所

東京市麹町區麹町三丁目十三
發行所　婦選獲得同盟
電話九段(33)二七二九番
振替東京七〇三八三番

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA